

第 **209**号

令和7年1月10日発行

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会

発行人 積田 優

編集人 広報委員会

(委員長 矢嶋博和)

事務局

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
http://www.saidenkyo.jp/ E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

TEL 048(864)0385

編集 日本工業経済新聞社(埼玉建設新聞)

彩の耀

さいのかがやき

一般社団法人 埼玉県電業協会

耀け埼玉電協!

～2030年に向けて持続可能な開発目標～



本年は協会設立50周年

一般社団法人埼玉県電業協会 会長 積田 優



令和7年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また平素より

(一社)埼玉県電業協会の活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度の業界を取り巻く環境は資機材価格の高騰はあるものの、高圧ケーブル以外は需給の逼迫が一定程度落ち着き、また建設投資の下げ止まりや設計労務単価の引上げ等により、全体として改善傾向にありました。しかし、超高齢社会が到来する2025年問題にあるように、多くのベテラン労働力が引退し、若年層労働者の不足がさらに顕著になると見られています。加えて、働き方改革や技術伝承の問題も重なり、業界全体の生産性が大きく低下し持続可能性にも深刻な影響を与えかねません。この大きな分岐点にある今、魅力と活力あふれる電設業界を目指す為に、(一社)日本電設工業協会の第4次アクションプラン(2024-2027)

- ① 時間外労働の上限規制適用を梃子に「働き方改革」を深化させる
- ② 担い手不足の深刻化に対応した「多様な人材確保・育成と処遇改善」方策を強化する
- ③ 生産性向上、省エネ・脱炭素化など人口減少下での社会・地域のGX(グリーントランスフォーメーション)実現に貢献する新技術の開発・普及に積極

的に取り組む

④ 請負契約の見直しによる受発注者間の対等な関係の構築に向けた条件整備と関係者・関係機関とのコミュニケーションを充実させる

⑤ 会員サービスを充実させるとともに、広報・広聴活動を強化し社会への発信力を強化する

ののっとりアップデートすべきことを明確にして担い手不足の深刻化に対応した協会活動に邁進してまいります。そして、発注者様に質の高いサービスを適切・継続的にご提供し、県民の皆様が安心・安全で暮らせるための電気設備の供給、整備、保全に会員一同取り組んでいきたいと考えております。

また本年協会は設立50周年を迎える年になりました。これまでに諸先輩が幾多の困難を乗り越え今日の協会の姿があることに思いを馳せ、心からの敬意と感謝の意を表するとともに、関係機関各位のご理解とご支援の賜物であると心より御礼を申し上げます。記念式典をはじめ様々な50周年記念事業の企画を予定しております。今後も社会を取り巻く環境変化に対応しながら多様な人材が“いきいき”と活躍する魅力と活力あふれる電設業界の実現に向けた諸活動を展開し、不変の努力を続け信頼に依って参る所存です。今後ともなお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。結びに関連団体の皆様益々のご活躍を祈念申し上げ新年の抱負とさせていただきます。

埼玉県優秀建設工事表彰

埼玉県では、発注した建設工事を優秀な成績で完成させた企業、現場代理人などを他の模範として、毎年表彰しています。令和6年度に表彰された設備部門のうち、当協会の会員が受賞した工事は次の通りです。(敬称略)

令和6年度埼玉県優秀建設工事施工者表彰

○知事表彰(優秀賞)	飯島電器工事(株)	総選除)22歴史と民族の博物館いきいき1期電灯設備改修工事
------------	-----------	-------------------------------

令和6年度県土づくり優秀建設工事施工者・現場代理人表彰(課所長表彰)

○設備課長表彰	(株)イトラスト埼玉 現場代理人 大谷 晃	22さいたま芸術劇場大ホール電気設備改修工事
○設備課長表彰	深井電気(株) 現場代理人 小島幸雄	22大宮工業高校給食棟ほか快適HS施設整備電気設備工事
○設備課長表彰	(株)北産電設	23芸術総合高校体育館全体改修電気・機械設備工事
○設備課長表彰	現場代理人 千代田浩一 (飯島電器工事(株))	総選除)22歴史と民族の博物館いきいき1期電灯設備改修工事
○下水道局長表彰	三位電気(株) 現場代理人 川島 忠	総選除)市野川流域小川中継自家発電設備改築工事

令和6年度埼玉県企業局優秀施工業者等表彰

○設備工事・維持管理工事部門	(株)八洲電業社 現場代理人 菊地義和	荒木取水ポンプ所自家用発電機設備工事
----------------	------------------------	--------------------



知事賞を受賞した飯島社長(左)

『持続可能で活力ある埼玉を次世代につなぐ』



埼玉県知事 大野 元裕

明けましておめでとうございます。

昨年、埼玉県が生んだ偉人、渋沢栄一翁が描かれた新一

万円札が7月に発行され、県では、「渋沢って、埼玉らしい」のキャッチコピーの下、渋沢翁が埼玉出身であることを大いにPRしました。

また、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会などでは、県ゆかりの選手が大活躍し、私たちも大変勇気づけられました。

県産農産物においても、いちごの「あまりん」のほか梨の「彩玉」など県オリジナル品種が、全国選手権で相次いで最高金賞を受賞するなど、本県に強力な追い風が吹いた年でした。

さて、既に本県においても人口減少が進む中で、人口減少・超少子高齢社会の到来への対応は待ったなしの状況と言えます。

また、激甚化・頻発化する自然災害、迫りくる首都直下型地震などの危機にも備えなければなりません。

この「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害など、危機への対応」という時代の転換点における2つの歴史的課題に敢然と立ち向かい、子や孫の世代に対する責任を果たしていくことが我々の使命です。

今年は緒に就いたこれらの施策を確実な軌道に乗せていきます。

人口減少・超少子高齢社会への対応として、「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」による持続可能なまちづくり、DX推進による生産性向上、サーキュラーエコノミーの推進、円滑な価格転嫁に向けた支援や人手不足対策等による強い経済の構築などの施策を更に推し進めていきます。

特に本県が開発した価格転嫁を支援する各種ツールは、多数の道府県のホームページからもリンクされ、全国知事会優秀政策にも選定されました。本県が国に先駆けて政策をリードしていきます。

また、「さいたまけん★こどものこえ」などに

より、こどもや子育て当事者の意見を聴き、県のこども施策に反映させることで、安心してこどもを生み育てられる環境の整備を進め、「こどもまんなか社会」の実現を目指します。

女性、高齢者、障害者、性的マイノリティ(LGBT等)など、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる社会の実現に向けて、施策を力強く推進していきます。

さらに、激甚化・頻発化する災害などの危機に対しては、県土の強靱化を図り、能登半島地震などの検証を踏まえ、防災力を高めるハード面の対策として防災減災に資する道路・河川などインフラ施設の整備を着実に進めるなどの入念な備えを進めるとともに、平時から様々なシナリオ作成や訓練を繰り返し、関係機関との強固な連結を進める「埼玉版FEMA」の推進により、危機管理・災害対応力を強化します。

本県が目指す将来像の実現に向け各取組を更に深化させるとともに、これまで取り組んできたDXの第1段階、アナログからデジタルへの転換の成果を土台に、第2段階としてデジタルを前提に従来の仕事のやり方を見直すTX(タスク・トランスフォーメーション)を推進し、県民サービスをより向上させていきます。

今年5月には、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、本県で全国植樹祭が開催されます。森林・みどりを利用しながら守り育てるとともに、木材製品を積極的に使っていただくなど、森林資源の循環利用を図る「活樹」に取り組む契機としていきます。

夏には、埼玉初のイノベーション創出拠点「渋沢MIX」を開設します。渋沢翁の偉大な実績にあやかり、人々が出会い・混ざり合い・つながることで、新たなイノベーションが共創される場となるよう進めてまいります。

今年の干支「巳(み)」は、実を結ぶ年とされています。今年が埼玉県にとって実り多き年となるよう、一般社団法人埼玉県電業協会の皆様と共に「ワンチーム埼玉」で県政に取り組み、活力ある埼玉を次世代につないでまいります。

協会から6項目要望 県設備課と意見交換会



積田会長



小久保課長

昨年10月15日、さいたま市内の埼玉教育会館で、県設備課との意見交換会を開き、協会から出された6項目と、設備課からの3項目について意見を交わし、認識の共有を図りました。

当日は県側から、設備課の小久保賢一課長をはじめ、企画・設備技術や電気・機械、県営住宅設備、大規模担当の幹部らが出席。一方で協会からは、積田優会長、川合昭副会長、内山祥章副会長ら役員13人が出席しました。

あいさつで積田会長は「本日の意見交換では、突っ込んだ細かい内容も議題にさせていただくので、ご教授いただければと思う」と述べると、小久保課長は「われわれ設備

課ができることは、絶え間なく工事を発注することだが、諸課題について皆さまとできることを一緒に取り組んでいきたい。こうした意見交換がより大事になってくると考えているので、本日も実りあるものとなれば」と期待しました。

意見交換では協会から①工程管理②調査費③物価スライド・インフレスライド④請負代金の変更方法⑤「数量表」契約⑥地域要件一の6項目について要望。その後、設備課からは①技術者不足の実態②工事発注の適切な規模感③類似工事による入札実施一の3項目について、協会側の状況や意向について聞かれました。



諸課題について意見を交わしました

第2回技術講習会 新エネの最新動向テーマに



昨年11月7日、本年度2回目となる技術講習会を、さいたま市内の埼玉建産連研修センターで開きました。参加した会員、県の職員、市町村職員およそ40人は、今回のテーマである新エネルギー関連の最新動向について、知識を深めました。

あいさつで積田会長は、テーマの新エネルギーについて「これからの新エネルギーということで太陽光、地熱、風力発電の他にも、核融合発電であったり、今後の新しいエネルギーの内容についてもご説明いただく中身の濃い内容になっています。これから、ESG投資や2050年カーボンニュートラルに向けて、われわれ電気設備会社としては、社会的責任としてこうした知識をしっかりと身に付けて取り組んでいくことが大事であるとともに、大きなビジネスチャンスでもあります」とテーマの重要性を強調しました。

講師は、関電工北関東・北信越営業本部品質工事管理部

の小林司部長が務めました。小林部長は「皆さんのこれからのビジネスにつながることを考えながら資料を作成しました。日本の発展や世界にも影響を与えるエネルギーについて、一層理解を深めてください」と述べた後、講演に移り、エネルギー基本計画、再生可能エネルギーの順に、それぞれ最新動向を説明。新エネルギーでは、湧水温度差発電システム、コンバインドサイクル発電、定置型燃料電池発電、核融合発電といった今後期待される発電方法や注目されている蓄電池システムについても触れました。



関電工の小林部長が講師を務めました

11月14日 県庁オープンデー 昆虫型ロボットのエコ工作づくり



11月14日の県民の日に合わせて、県庁オープンデーが開催されました。当協会では「電気に親しもう！」をテーマに、子どもたちが太陽電池を搭載したソーラー電池で動くバッタ「メカホッパー」の工作を行う体験ブースを出展しました。

今年は昨年の60個を大幅に上回る100個を用意しました。開始時間別に10回に分けた整理券を先着順に配布すると、多くの子供たちが集まりました。ブース内では、子ども

たちが協会協力委員の手助けを受けながら「メカホッパー」の工作に取り組み、太陽光で動くソーラーシステムの仕組みを学習しました。



今年も多くの子供たちが集まりました

BCPワーキングセミナー開催



昨年11月26日、本年度のBCPワーキングセミナーを、さいたま市内の埼玉建産連研修センターで開催しました。

セミナーを担当する同協会事故防止対策委員会の山本和利委員長は「県と防災協定を締結している当協会としても、各会員企業の力をお借りすることもあるので、ぜひBCPの取得を目指してほしい」と呼び掛けました。

セミナーは、埼玉県産業振興公社BCPアドバイザーの村田成巳氏が講師を務めました。村田氏は「電気工事業としてBCPをどう考え、対策をとったらよいか。もし大地震が起こったら、もし社屋が浸水するような豪雨に遭ったらと

いうことを想定して考えていきたい」と述べ、経済産業省が認定している中小企業のための簡易なBCPと位置づけられている事業継続力強化計画策定の認定申請書の記入方法も学びました。



県産業振興公社の村田氏から説明を受けました

埼玉・神奈川・千葉



本県で三県連絡会議



各協会はそれぞれの課題が発表されました

昨年11月19日に、埼玉県、神奈川県、千葉県の実業協会が集う本年度の三県連絡会議が、さいたま市内の浦和ガーデンビルで開かれました。各県協会から持ち寄った課題がそれぞれ発表され、他県の状況を共有しました。

会議には、当協会からは積田優会長、川合昭副会長、内山祥章副会長ほか、理事・監事を含め15人が出席。神奈川県からは山口宏会長ら5人、千葉県からは細矢充会長ら5人が来県されました。

開催県として積田会長は「われわれの業界の課題といえば、人手不足があげられる。物価も賃金も上がる大変な環境の中で、会員各企業は活動されていると思う。今は仕事が多くあっても、10年後を考えるとどうかはわからないが、このような深刻な状況の中、日本電設工業協会（電設協）を先頭に業界全体でこうした課題に対応していかなければならない。近県の協会の課題を足掛かりに進めていきたい」と呼び掛けました。

意見交換では神奈川県協会から、各協会の中長期計画につ

いて、千葉県協会からは会員企業の事業継承状況・SDGsの取り組み・キャリアアップシステムの有効活用について、当協会からは発注方式・物価スライド状況・PPP・PFIの発注状況について、それぞれ他県の現状を伺いました。

群馬県電設協会と初の交流会



昨年10月29日、群馬県電設協会と初となる交流懇談会を、さいたま市内のソニックシティで開きました。それぞれの協会幹部が出席して、率直に意見を交わしました。

積田会長は「狩野会長をはじめ群馬県電設協会の幹部の皆様にお越しいただき、ありがとうございます。私たちの今の業界は深刻な人手不足や物価高、さまざまな入札制度改正等、対応しなければならない課題も多くなっています。そうした中、まずは近県の団体同士で情報交換しながら解決の糸口を探っていければと狩野会長とお話をさせていただき、今日はその一回目。今後、群馬と埼玉でどのようなことができるのか皆さんと一緒に意見交換できれば」と有意義な場となるよう期待しました。

議題は、群馬県協会から官公需への対応や他県電設協会との交流内容について。当協会からは発注方式やPPP/PFI方式の発注状況についても意見を交わした後、フリートーキングを行い、今後も継続して意見を交わしていくことを確認しました。



率直に意見を交わした初の交流懇談会

受験準備講習会



第一種電気工事士 技能試験突破へ5日間学ぶ

昨年10月18日、25日、11月1日、8日、15日の5日間、第一種電気工事士の技能試験受験準備講習会を、埼玉建産連研修センターで開き、15人が参加しました。

講師を務めたケイ・教育企画サポート事務所の茂木次郎氏と藤原勝彦氏は「技能試験は今回の講習を5回全て受講すれば合格できます。わからないことがあれば聞いてほしい」と呼び掛けました。

講習は、初日にオリエンテーションが行われた後、午前は

技能試験の基礎知識について座学を受け、午後は複線図の実技訓練を行いました。第2回以降は、公表問題の実習を中心に、公表問題を解いたり、映像を視聴するとともに、個人別に技能指導を行い、理解を深めました。



実習や個別指導も行われました

1級電気通信工事施工管理技士 二次検定試験対策を指導

昨年10月22日と23日の2日間、1級電気通信施工管理技士の第二次検定試験突破を目指した受験準備講習会を埼玉建産連研修センターで開催しました（写真）。講師はSEEDOの関根康明氏が務めました。

第二次検定は、監理技術者として工事の施工の管理を適確に行うために必要な知識と、設計図書を正確に理解し、電気

通信設備の施工図を適正に作成し、必要な機材の選定と配置等を適切に行うことができる応用能力が求められ、それを中心に学びました。



特別教育

高圧・特別高圧電気取扱者特別教育を修了



昨年10月8日と9日の2日間、埼玉建産連研修センターで、高圧・特別高圧電気取扱者の特別教育を開きました。講師は、ケイ・教育企画サポート事務所の茂木次郎氏が務



め、活線作業・活線近接作業の方法などを、わかりやすく解説しました。

この特別教育は、労働安全衛生法に基づく法定教育です。初日は、電気設備や安全作業用具に関する基礎知識や関係法令を学び、2日目は活線作業・活線近接作業の方法や開閉器の操作方法、停電・復電の操作手順について説明しました。最後に、確認テストを経て、受講者には修了証が手渡されました。

我が家に居酒屋開店間近!



イーテクノス(株) 総務部長 佐藤 勝広

「最近、落ち着いて呑める店が少なくなったとお嘆きの貴兄に!」

左党のみなさん、ホッと一息ついてお酒を楽しめる空間をお持ちでしょうか?

我が家はそれを実現する「空き部屋を居酒屋に改造する」プロジェクトがいよいよ最終段階です。

ことのきっかけは、現在の家(親戚から借りている戸建て)に数年前に引っ越した際、妻から「空き部屋は自由に使っていい」と了承を得たことです。そして答えは「理想の居酒屋に改造する」一択でした。

そもそも私は大の日本酒好きで、自宅のメールアドレスも某酒蔵名を使用しているほどです(shinkame@~)。そしてこの瞬間から理想の居酒屋(昭和調)実現ための行動が始まるのです。雰囲気作りのため、まず、照明を白色から電球色に変更し、リサイクル店で見つけた古い座卓を設置。入り口には赤ちょうちん、壁には漁の網と大漁旗と古いポスターを飾り付けました。さらに、酒蔵の前掛けをディスプレイするなど、完全に趣味を超えていつでも営業できるほどに仕上げました。また、お酒や居酒屋関連の書籍やDVDも充実させ、小型冷蔵庫や調理器もスタンバイしています。

これまで集めた酒瓶も飾っていましたが、4合瓶150本を超えたところで置き場所がなくなり、泣く泣くこれらは1銘柄につき1

本だけを残し他は処分することに。最後の仕上げに壁に木目調の板を貼れば、我が家の居酒屋「酔い処かわせみ亭」がグランドオープンです。

最近、知人が来ると、妻が面白がって居酒屋コーナーを見学させてますが、反応は決まって「爆笑」。こんなに完成度が高いのに、笑いを取るためにやっているようで複雑な心境です。ところで、「伝統的酒造り」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。我が家の居酒屋も佐藤家の有形文化遺産として大切に守っていきたいと思っているこのごろです。



入口



室内

令和6年度「会員交流大会」



紅葉の伊香保に雲海が広がる

昨年11月15日(金)・16(土)に会員交流大会を開催しました。令和5年度からの企画で、会員の交流を趣旨としたゴルフ大会・懇親会を中心とするレクリエーション行事です。

秋がようやく深まった伊香保で紅葉と雲海を眺め、ゴルフを楽しみ、夜は会話に盛り上がりました。「この交流を続けていきましょう!」と会長からの明るい呼びかけに一同拍手で和んでいました。



親睦のメとなる朝食風景

高校生が
電気工事体験

大宮工業高校で現場見学会



昨年12月3日、大宮工業高校の生徒を対象とした工事現場見学会を、県設備課との共催でさいたま市内の同校で開催しました。参加した電気科2年生の24人は、工事体験や工事の受発注者の説明を受けて、電気工事へ興味と理解を深めました。

この説明会は、建設業界への担い手確保・育成に向けて、高校生に対し自校の電気設備工事の現場見学会を通じて、建設業への興味・理解を深めてもらおうと、工事を実際に行っている中から体育館電気設備改修工事が行われている同校が選ばれました。

生徒は、工事の進む体育館で、施工業者より説明を受

け、二種電気工事士の資格を取得している数名の代表者が照明器具の交換作業を体験しました。

また次の授業では、当協会人材育成委員会の佐野雄一郎委員長が、電気工事の計画段階から施工まで、そして電気工事業界で働くための流れなどを幅広く説明しました。



照明器具の取り付け作業を体験しました

協会のうごき

12月

- 3日 現場研修会
- 6日 正副会長会議
- 10日 さいたま支部 支部会議
- 16日 県営住宅 消防・電気設備等保守点検業務
第2回実施説明会
- 17日 第5回50周年事業特別委員会
第10回 理事会
第2回 収益事業検討会議
- 27日 仕事納め

1月

- 6日 仕事始め
- 17日 -50周年オープニング事業-
イノベーションセミナー
賀詞交歓会
- 22日 大規模災害時対応図上訓練
- 23日 第3回人材育成委員会
- 24日 第4回事故防止対策委員会

2月

- 4日 第2回広報委員会
- 5日 第2回技術研究委員会
- 6日 第3回企業対策委員会
- 12日 第3回総務委員会
- 18日 第11回理事会
-50周年事業-安全祈願

(一社) 埼玉県電業協会 会員

支部長◎ 副支部長○

さいたま支部 (17社)

- 浦和電気工事(株)(南区)
- (株)エルテックコーポレーション(見沼区)
- 大塚電設(株)(浦和区)
- (株)岡村電機(緑区)
- 毛塚電気工事(株)(大宮区)
- 埼玉田中電気(株)(南区)

- 埼玉電設(株)(中央区)
- 栄電業(株)(上尾市)
- 新生電気工事(株)(見沼区)
- (株)積田電業社(浦和区)
- 中村電設工業(株)(岩槻区)
- (株)靄島電機(大宮区)
- (株)万代電気工業(桜区)
- (株)松岡電気工業(桜区)
- (株)丸電(西区)
- 瑞穂電設(株)(北区)
- ◎(株)八洲電業社(北区)

東部支部 (13社)

- (株)内田電気商会(久喜市)
- (株)大久保電気(越谷市)
- 倉持電気(株)(三郷市)
- (株)三進電気工事(上尾市)
- 島村電業(株)(上尾市)
- (株)新電気(三郷市)
- (株)大広電気(八潮市)
- 太平洋電設工業(株)(越谷市)
- (株)高岡電気工業(松伏町)
- ニチデン技術サービス(株)(北本市)

西部支部 (17社)

- 飯島電器工事(株)(川越市)
- (株)市之瀬電設(志木市)
- (株)大庭電気商会(川越市)
- (株)岡島電気商会(川越市)
- (株)おぎでん(川越市)
- クマタ(株)(狭山市)
- (株)三共電気商会(和光市)
- (株)関根電気商会(川越市)
- (株)電成社(川越市)
- (株)中村電気(新座市)
- ◎橋電(株)(所沢市)
- (株)橋本電工(所沢市)
- フジヤ電気工事(株)(川越市)
- (株)北産電設(所沢市)
- (株)まつもと電機(和光市)
- (株)明電社(川越市)
- (株)ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

南部支部 (7社)

- ◎内山電設(株)(川口市)
- (株)奥富電気工事(川口市)
- (株)佐野電機(株)(川口市)
- 佐野電機(株)(川口市)
- 三位電気(株)(川口市)
- 高山電設工業(株)(川口市)
- 那須電機工業(株)(川口市)

北部支部 (15社)

- イーテクノス(株)(熊谷市)
- (株)イートラスト埼玉(行田市)
- (株)内村電気(深谷市)
- (株)エコー(深谷市)
- 共和電機(株)(秩父市)
- 熊谷電機(株)(熊谷市)
- (株)栗原電機(深谷市)
- 霜田電気(株)(皆野町)
- 中外電気工業(株)(深谷市)
- (株)東電工業社(熊谷市)
- (株)長井電機(熊谷市)
- (株)沼尻電気工事(深谷市)
- (株)早川電工(鴻巣市)
- 松山電設(株)(東松山市)
- ◎(株)躍進電気(深谷市)



岡村一巳氏の受章祝賀会 大野知事ら多数祝福



岡村ご夫妻

2024年春の叙勲で旭日双光章を受章した当協会元会長で岡村電機代表取締役の岡村一巳氏の受章祝賀会が昨年11月9日、さいたま市内のロイヤルパインズホテル浦和で開かれ、大野元裕知事ら90人が出席して岡村氏の受章を祝いました。

国土交通大臣表彰 川合副会長が受賞

2024年の建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰式が昨年7月10日、省内の共用会議室で執り行われ、当協会の副会長で埼玉電設代表取締役の川合昭氏が栄誉に輝きました。

